

エコアくまもとだより

※「エコアくまもと」は、最終処分場の名称です。

2016.7月 第9号

理事長就任のご挨拶



この度、6月2日付けで公益財団法人熊本県環境整備事業団の理事長に就任いたしました熊本県副知事の田嶋でございます。

私は、これまで知事公室長として蒲島知事に仕えて参りました。知事は、度々、エコアくまもとのことを「第二のくまモン」と語られており、その思いは非常に大きいものがあります。私も、知事の思いをしっかりと受け止め、地元の皆様から親しまれる施設となるよう、全力で取り組んで参りたいと考えています。

エコアくまもとでは、今年3月に産業廃棄物の受入れを開始しましたが、その直後に発生した熊本地震に伴う災害廃棄物の受入れで現在はフル稼働している状況でございます。本県では、被災地の復興に向けて全力で取り組んでいますが、エコアくまもとの復興のお役に立っているのも、地元の皆様のご理解があったからこそであると思っています。改めて、厚くお礼申し上げます。

また、エコアくまもとでは県北の環境教育の拠点を目指していますが、今年度からは2名の環境教育指導員を新たに加え、拠点化を目指した取組みを進めていくこととしています。本来の最終処分場としての役割をしっかりと果たしつつ、環境教育を通じて多くの皆様にこの施設の意義を知っていただけるよう努力して参りたいと考えています。

今後も、地元の皆様に信頼していただけるよう、安全を第一に事業を進めて参りますので、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

公益財団法人熊本県環境整備事業団 理事長 田嶋 徹

廃棄物の受入れを開始しました



エコアくまもとでは、3月18日から産業廃棄物の受入れを開始しました。この日は、安全推進委員会の正副委員長にも立ち会いいただき、取材のマスコミ各社も見守る中、熊本市の石坂グループから2台のトラックによる搬入がありました。

現在、県内の5社と契約を締結していますが、搬入される運転手には必ず事前に安全管理講習会を受講してもらい、安全に十分留意して搬入していただくようお願いしています。

熊本地震への対応状況



荷下ろしの様子

先般の熊本地震では、家屋の損壊等の被害に遭われた皆様もいらっしゃるかと存じます。心よりお見舞い申し上げます。

当施設につきましては、地震

発生後に施工業者や学識経験者による施設確認を行い、特段の異常がないことを確認しております。

また、4月28日から災害廃棄物の受入れを行っています。現在、右に記載のとおり11の市町村から家屋の瓦がれき類やボード類を中心に受入れており、当面は受入れを継続する予定です。



6月20日現在の埋立状況

【災害廃棄物の埋立実績】

(単位:t)

	4月	5月	6月	7月	合計
益城町	605.16	2,799.63	1,122.04	436.42	4,963.25
御船町		914.14			914.14
宇城市		2,854.55	853.67	248.75	3,956.97
甲佐町		10.27			10.27
和水町		11.57			11.57
玉名市		392.77			392.77
嘉島町		137.02		84.99	222.01
大津町		577.18	3.11	101.86	682.15
南関町		20.29			20.29
阿蘇市			360.49	23.84	384.33
南阿蘇村			137.47	61.99	199.46
合計	605.16	7,717.42	2,476.78	957.85	11,757.21

※7月12日現在

県北の環境教育の拠点に向けて取り組んでいます

今年度から、2名の環境教育指導員を迎え、県北の環境教育の拠点に向けて積極的に取り組んでいます。那須指導員は、かつて県の環境センターに勤務され、地元の環境団体で荒玉地区の環境教育をリードされてきたベテランです。また、荒牧指導員も、数年前まで地元の南関第三小学校に勤務され、子供たちの教育について豊富な経験をお持ちです。



南関高校による見学（平成28年3月）



南関第三小学校による見学（平成28年6月）

地元南関町からは、3月に南関高校、6月に南関第三小学校、7月に南関中学校から見学にお越しいただきました。

小学生は環境をテーマにしたクイズに興味津々で、次々と手が挙がりました。

また、中学生や高校生からは、こちらが唸るような質問も飛び出し、環境問題への意識の高さに感心させられました。

そのほか、県立教育センターによる研修の一環として、荒尾・玉名・山鹿地区の小中学校の先生方に施設を見学していただきました。

自然環境エリアでは、ホテル池でホテルの幼虫の放流を行い、5月には、夜にホテルが飛び交う様子を目にすることができました。



小中学校の先生方への研修（平成28年6月）



ホテルの幼虫放流（平成28年3月）

安全推進委員会を開催しました

廃棄物の受入れ開始と熊本地震の発生に伴い、最新の状況をご説明するため、5月19日（木）17時から安全推進委員会を開催いたしました。



委員の皆様からは、災害廃棄物の取扱いについて質問がありましたが、受入れを含む災害への対応に理解を示していただきました。

また、見学ブースから実際の埋立状況を確認いただき、廃棄物が搬入され前回の見学から大きく変わった埋立地の様子に感嘆の声が上がりました。



今年も桜が咲きました❀



西側ため池前の桜並木に、今年の春もきれいな花が咲きました。

この1年で少しずつ木も育っており、地域の皆様にも開放できるようになるのを楽しみにしています。

新しいスタッフです よろしくお祈いします

事務局次長

浦津 栄一

環境教育指導員

那須 義則

環境教育指導員

荒牧 秀幸

編集・発行：公益財団法人熊本県環境整備事業団

〒861-0821 玉名郡南関町下坂下4771-3

TEL：0968-53-8500 / FAX：0968-53-8510

☆皆さんが読みやすいようにできる限り日常的な表現の使用を心掛けています。専門的な内容は個別にお問合せください。